

公益社団法人 日本都市計画学会

関西支部 2013年度総会

議案書

2013年4月7日

公益社団法人 日本都市計画学会  
関西支部



## 議 事

### 1. 開会の辞

### 2. 支部長挨拶

### 3. 議案

- (1) 第1号議案（2012年度日本都市計画学会関西支部活動報告について）

報告事項1 2012年度日本都市計画学会関西支部決算について

- (2) 第2号議案（2013年度日本都市計画学会関西支部活動方針について）

報告事項2 2013年度日本都市計画学会関西支部予算について

- (3) 第3号議案（日本都市計画学会関西支部規程の改正について）

- (4) 第4号議案（2013年度日本都市計画学会関西支部役員選出について）

### 4. 閉会の辞



## 目 次

### 【第1号議案資料】2012年度日本都市計画学会関西支部活動報告

- 1) 幹事会経過報告
- 2) 都市計画講演会の開催
- 3) 都市計画フィールドワークの開催
- 4) 会員サービス・会計について
- 5) 広報について
- 6) 支部研究助成について
- 7) 国際交流活動について
- 8) 関西まちづくり賞について
- 9) 研究発表会の開催について
- 10) Webサイトの更新と情報発信の活性化について
- 11) 委員会への会員公募参加について
- 12) 特別委員会「東日本大震災復興都市づくり特別委員会」の活動について
- 13) その他：研究交流事業特別委員会への支援について

### 【報告事項1】2012年度日本都市計画学会関西支部決算

### 【第2号議案資料】2013年度日本都市計画学会関西支部活動方針（案）

- 1) 主な事業の日程概要
- 2) 社会のニーズに対応したより円滑で活性化した支部活動について
- 3) 都市計画講演会及びシンポジウム・都市計画フィールドワークの開催
- 4) 広報について
- 5) 研究助成「都市計画研究会」について
- 6) 国際・学生交流の推進
- 7) 関西まちづくり賞について
- 8) 研究発表会について
- 9) 委員会への会員公募参加について
- 10) 特別委員会「東日本大震災復興都市づくり特別委員会」の活動について

### 【報告事項2】2013年度日本都市計画学会関西支部収支予算書

### 【第3号議案資料】日本都市計画学会関西支部規程（改正案）

【資料1】 日本都市計画学会関西支部規程（現行）

【資料2】 日本都市計画学会関西支部規程細則

【資料3】 日本都市計画学会関西支部会員数

【資料4】 日本都市計画学会関西支部交付金の推移

- 【資料5】 研究助成「都市計画研究会」の募集 応募要領（2013年度）
- 【資料6】 関西まちづくり賞受賞実績
- 【資料7】 「第11回関西支部研究発表会」開催案内および発表の募集
- 【資料8】 各種委員会の公募 募集要領
- 【資料9】 公益社団法人日本都市計画学会関西支部役員および委員（2013年3月1日現在）

【第1号議案資料】

2012 年度日本都市計画学会関西支部活動報告

1) 幹事会経過報告

開催日時		主な議事及び決定事項
第1回 2012. 5. 31	1. 2. 3. 4.	増田支部長より本部臨時及び第1回理事会、支部長連絡会の報告 今年度幹事会の方向、開催日程、副支部長、委員会体制・委員公募の確認、決定 各委員会の課題を提示し、活動の方向性について検討 新支部 Web サイトの操作方法について説明
第2回 2012. 8. 7	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10.	増田支部長より本部第3回理事会、支部長連絡会の報告 各委員会委員の検討、承認 新支部 Web サーバ運営方針について提案 企画事業の開催スケジュールについて検討 社会人・学生との交流会の企画案について検討 支部だよりの特集テーマの検討 海外都市計画交流会：中国内モンゴル自治区の開催(8/1~7) 報告 関西まちづくり賞募集開始報告 第10回研究発表会(7/28)の開催報告、奨励賞4名を選出 東日本大震災復興都市づくり特別委員会の現地調査等の調査予定の報告
第3回 2012. 10. 9	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10.	増田支部長より本部第4回理事会の報告 研究助成について2件承認 連続座談会(人口減少社会における公共投資)、講演会、都市計画フィールドワークの開催スケジュールの検討 支部便りの執筆者の検討 海外都市計画交流会の報告会の開催案内(10/18 実施) 関西まちづくり賞の募集状況報告 支部研究発表会論文集のバックナンバーの各大学図書館への寄贈報告 支部研究発表会の運営要項の検討 東日本大震災復興都市づくり特別委員会検討状況報告 研究交流事業の募集要項及び応募状況の報告
第4回 2012. 12. 11	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9.	増田支部長より会長アドバイザー会議の報告 支部細則、要綱等の規約の位置づけ、議決手順の検討 第1回座談会(移動を保障する仕組みづくりを考える：11/11)の開催報告及び第2回座談会及び第1回都市計画フィールドワーク(12/15)の開催案内 学生と社会人の交流会開催(12/1) 報告 支部だよりの26号の編集状況報告及び本部機関紙支部だよりの4月号の担当検討 関西まちづくり賞の審査状況報告 東日本大震災復興都市づくり特別委員会の東北現地調査等の調査報告 研究交流事業の応募、審査状況の報告 平成25年度予算及び各委員会の予算削減に伴う課題と可能性の検討
第5回 2013. 2. 5	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9.	増田支部長より本部第6回理事会の報告 第2回都市計画フィールドワーク(下町遠足ツアー：2/17)の開催案内 平成24年度決算のスケジュールの確認 支部だよりの校正状況の報告 2012年度関西まちづくり賞授賞者決定 第11回研究発表会(7/27開催)及び論文募集案内 関西での会長アドバイザー会議の開催検討 震災講演会及びシンポジウム(4/7)の企画内容について検討 支部事務局移転に伴う課題及び対応について検討
第6回 2013. 3. 5	1. 2. 3.	2013年度総会議案書の進捗・内容確認 関西まちづくり賞の報道発表等について検討 2013年度幹事構成について意見交換

参考：【資料1・2】

## 2) 都市計画講演会の開催

### 1. 東日本大震災特別委員会との共催による震災シンポジウムを実施

テーマ：「南海トラフ地震に備える ～過去・現在・未来～」

講演：「濱口梧陵「稲むらの火」に学ぶ過去の教訓」

稲むらの火の館・語り部サークル会長 崎山光一

「コミュニティにおける南海トラフ地震対策の現状」

和歌山大学防災研究教育センター 特任准教授 照本清峰

「南海トラフ地震の津波シミュレーションについて」

京都大学防災研究所巨大災害研究センター 助教 鈴木 進吾

パネルディスカッション：講演者＋コーディネーター（小浦久子・大阪大学）

開催日時：平成 24 年 12 月 8 日（土） 14：00～17：00

開催場所：キャンパスポート大阪 ルーム D, E

参加者：正会員 16、非会員 3 計 19 人

## 2. 連続座談会

「人口減少時代の社会的共通資本」をテーマに＜移動・交流・環境＞の観点から連続座談会を実施した。（その成果をもとに来年度に総合シンポジウムを行う）

### 第 1 回 座談会

テーマ：「移動を保障する仕組みづくりを考える

～人口減少時代に適した交通インフラとそれを支える仕組み」

報告 1 「公共交通の民営化を巡る諸課題」 社会システム総合研究所代表取締役 西田純二

報告 2 「2010 年の近畿圏パーソントリップ調査速報値から見えてきたこと」

京都大学大学院工学研究科・医学研究科特定 教授 土井勉

報告 3 「需要逡減時代における官民の役割分担のあり方」

関西大学経済学部 教授 宇都宮浄人

開催日時：平成 24 年 11 月 11 日（土） 13：30～16：30

開催場所：大阪市立総合生涯学習センター 第 2 研修室

参加者：正会員 13、賛助会員 3、非会員 7 計 23 人

### 第 2 回 座談会

テーマ：「観光都市のブランディングによる経済効果と公共投資」

報告 1 「西成特区構想と天王寺あべののまちづくりの現場から」

阪南大学国際観光学部 教授 松村 嘉久

報告 2 「都市ブランドと観光」

(財)大阪観光コンベンション協会 総括部長 西迫 登

報告 3 「観光地域づくりの取組」

近畿運輸局観光地域振興課 課長補佐 清水 俊博

開催日時：平成 24 年 12 月 15 日（土） 16：00～18：00

開催場所：安倍乃荘（大阪市阿倍野）

参加者：正会員 5、非会員 7 計 12 人

### 第3回 座談会

テーマ：「持続可能な都市のかたち：コンパクトシティのコンセプト」

報告「持続可能な都市のかたち－OECD コンパクトシティ政策の比較調査より」

OECD Senior Policy Analyst 松本 忠

コメント1：神戸市都市計画総局計画部計画課 土地利用係長 湯田慶昭

コメント2：大阪大学大学院工学研究科 教授 下田吉之

開催日時：平成 25 年 1 月 18 日（金） 14：00～17：00

開催場所：キャンパスポート大阪 ルーム D

参加者：正会員 16 賛助会員 2 非会員 13 31 人

## 3) 都市計画フィールドワークの開催

### 第1回都市計画フィールドワーク

テーマ：「国際観光都市の歩き方」

日時：平成 24 年 12 月 15 日（土）13:00～

内容：阪南大学・松村嘉久教授と(財)大阪観光コンベンション協会・西迫登総括部長にコースガイドをお願いし、通天閣（集合場所）～ジャンジャン横丁～西成(バックパッカーのまち・ホテル中央)～ジャンジャン横丁～新世界～天王寺動物園～天王寺公園～ハルカス周辺ゾーンを歩き、得られた情報を第2回座談会のディスカッションに反映させた。

参加者：12 人

### 第2回都市計画フィールドワーク

テーマ：「まちの語り方」2 下町遠足ツアー

日時：平成 25 年 2 月 17 日（日）10:00～14:00

内容：「下町レトロに首っ丈の会」の山下香さんと伊藤由紀さん、「くもの会」の和田幹司会長の案内で長田区鷹取界限から駒ヶ林あたりを歩いた。途中、下町ポイントのひとつで昼食をとりながら、会の趣旨や遠足ツアーの作り方などについて話を聞き、下町の魅力の発見から都市のとらえ方について意見交換を行った。

参加者：12 人

## 4) 会員サービス・会計について

### 1. 会計処理、およびその他

2013 年度の予算案の作成、ならびに 2012 年度の決算書の作成を行った。その他、賛助会員向けの会員証の制作・発行を行った。

### 2. 学生と社会人の交流会の開催

都市計画に関心を持つ学生と社会人とがお互いに交流し情報交換を持つ場として、「学生と社会人の交流会」を開催した。

テーマ：おおさかの顔をつくるーあべの地区をめぐる開発プロジェクトー

日時：平成24年12月1日（土）

内容：交流会 話題提供と質問

- ・阿倍野再開発事業について 小島 めぐみ（大阪市都市整備局阿倍野再開発事務所）
- ・あべのキューズモール事業の事業調整について 関口 冬樹（東急不動産株式会社商業施設事業部）
- ・あべのハルカスの計画概要について 堀 信一郎（近畿日本鉄道株式会社ターミナル開発事業本部）
- ・あべのハルカスの超高層・大深度掘削工事の計画と実施 吉田 智憲（株式会社竹中工務店 技術部）
- ・阿倍野歩道橋のデザインコンペ 川上 睦二（大阪市都市整備局阿倍野再開発事務所）

交流会後、学生と話題提供者を交えた懇親会を開催した。

参加者：30名

## 5) 広報について

### 1. 支部だよりの発行

2013年2月に「日本都市計画学会関西支部だより」No.27を約900部発行し、支部会員に発送した。特集として復興まちづくりをとりあげ、東日本大震災、平成21年台風9号災害、および、南海トラフ地震への防災施策等について、執筆依頼を行うほか、編集・広報委員も広川町・湯浅町（和歌山県）、佐用町（兵庫県）の現地取材を行った。

### 2. 本部機関紙「都市計画」に関する企画編集

本部機関紙「都市計画」において、関西支部の活動報告、都市計画情報の掲載ページ（支部だよりなど）に関する企画編集を行った。

## 6) 支部研究助成について

### 1. 研究助成報告会の実施

2012年度総会において、2011年度研究助成（最終報告2件、中間報告1件）の報告会を実施した。

### 2. 研究助成の実施

支部研究助成3件を実施した。

- |                         |         |
|-------------------------|---------|
| 継続(1) 「アーバン・レジリエンス研究会」  | 代表：山崎義人 |
| 新規(1) 「都市と人の生き方・働き方研究会」 | 代表：杉本容子 |
| 新規(2) 「災害リスクと集落再生研究会」   | 代表：田中正人 |

## 7) 国際交流活動について

### 1. 委員会の開催記録

- (1) 2012年6月4日(木) 2012年度の活動内容の検討
- (2) 2012年10月18日(木) 中国・内モンゴル自治区視察報告会の開催

### 2. 海外都市計画交流会の実施

- (1) 視察都市：中国・内モンゴル自治区（フフホト市、シリンホト市）
- (2) テーマ：都市化と遊牧の暮らしの変化の視察
- (3) 参加者：7名
- (4) 日程：2012年8月1日(水)～8月5日(日)
- (5) 内容：省都フフホト市では、都市計画展覧館を訪問し、フフホト市都市計画局の富副局長と、中国における都市計画の仕組み、中央政府による計画の承認手続きなどについて意見交換を行う。また、内モンゴル大学モンゴル学学院を訪問し、ミニセミナーを開催、バヤモンド学院長はじめ、モンゴル文化研究所の研究員の方々と、遊牧の生活と近代化、定住化について意見交換を行う。さらに、シリンホト市を訪れ、2001年から実施されている生態移民政策による定住ゲルの一つを訪問し、遊牧民と交流を行った。

## 8) 関西まちづくり賞について

### 1. 委員会等の開催記録

- ・第1回委員会(2012年7月11日) 2012年度募集要領の検討等  
募集期間(2012年8月1日～9月30日)
- ・第2回委員会(2012年11月21日) 選考方法の検討、ヒアリング開催内容の検討等
- ・第3回委員会(2012年12月21日) 応募・推薦案件の現地調査(3件)
- ・第4回委員会(2013年1月12日) 応募・推薦案件の現地調査(1件)
- ・第5回委員会(2013年1月24日) 現地調査の総括、受賞対象者の選考

### 2. 2012年度関西まちづくり賞 授賞

成果・実績の名称：**寝屋川市駅東地区 第二種市街地再開発事業** (大阪府寝屋川市)

受賞者：**株式会社大林組、株式会社東畑建築事務所、株式会社エス・ジー都市経営、株式会社まちづくり工房・晴、寝屋川市**

成果・実績の名称：**修徳まちづくり憲章** (京都府京都市)

受賞者：**修徳自治連合会、修徳まちづくり委員会、公益財団法人京都市景観まちづくりセンター、京都大学大学院工学研究科建築学専攻門内研究室、社団法人京都府建築士会まちづくり委員会**

成果・実績の名称：**～大阪駅が“まち”になる～「大阪ステーションシティ」の開発**

(大阪府大阪市)

受賞者：**西日本旅客鉄道株式会社、大阪ターミナルビル株式会社**

\*なお、2012年度は下記団体に特別賞「関西まちおこし賞」を授与

成果・実績の名称：**さまざまな地域資源を活用した都市農村交流事業による村づくり**

(兵庫県多可町)

受賞者：**兵庫県多可郡多可町加美区観音寺集落**

## 9) 研究発表会の開催について

2012年7月28日(土)、大阪市立大学文化交流センターにて、第10回研究発表会を開催した。大学・行政・企業の若手研究者を中心とした21編の研究発表があり、約50名の参加者を得て活発な質疑・討論が行われた。

発表会で選定している奨励賞には、以下の4名の方が選ばれた。

①周辺市街地の高齢化の進展に伴う近隣型商店街の変容に関する研究

鉢呂 和紀 (大阪大学大学院工学研究科)

②従業員参加型森林整備の現状と参加従業員の満足度評価

老田 哲寛 (大阪大学大学院工学研究科)

③地区計画制度の活用実態と課題について ―姫路市地区計画を事例として―

大江 達也 (兵庫県立大学大学院環境人間学研究科)

④津波常襲地域における災害伝承の実態とその効果に関する研究 ―生活防災に着目して―

石原 凌河 (大阪大学大学院工学研究科)

発表会終了後、例年通り表彰式および交流会を開催し、発表者、参加者間で広く意見交換を行った。

## 10) Webサイトの更新と情報発信の活性化について

(1) 新サーバーにおける全体的なWeb管理を行い、委員会ごとにWebページやメーリングリストの運用管理者を定めた。

(2) 新しいWebシステムを運用しつつ、課題を収集し、改善した。

## 11) 委員会への会員の公募参加について

2012年度総会議案書および支部HPで各種委員会委員の公募を行った。

## 12) 特別委員会「東日本大震災復興都市づくり特別委員会」の活動について

東日本大震災の人的支援として、復興まちづくりに関わる自治体職員や専門家の派遣についての調査検討を行うため、運営委員会の中に検討グループを設置し、岩手・宮城両県内の自治体や支援組織への訪問調査を実施した他、派遣元自治体へのヒアリング調査を行った。

関西の備えの調査検討を含めた全体のテーマを扱う特別委員会全体会を2回、同運営委員会を3回開催した他、下記の報告会を開催した。

(1) 第1回総会記念報告会（2012年4月21日）

「東日本大震災に学び関西の備えを考える」をテーマに、支部総会の開催にあわせて大阪市立大学文化交流センターで報告会を下記の方を迎えて開催、約90名の参加があった。

（報告）

中林一樹 明治大学大学院政治経済学研究科特任教授

畑 文隆 南三陸町技術参事兼復興まちづくり推進室長（西宮市派遣）

（パネルディスカッション：コーディネーター）

牧 紀男 京都大学防災研究所巨大災害研究センター准教授

(2) 第2回報告会（2012年10月3日）

特別委員会運営委員会の開催にあわせて、大阪大学松村暢彦准教授と大阪大学大学院博士後期課程石原凌河氏から阿南市を対象とする「津波常襲地域における生活防災意識の構造に関する研究」の報告会を開催、参加者は約15名であった。

(3) 第3回報告会（2012年12月8日）

企画委員会と共催でシンポジウム「南海トラフ地震に備える～過去・現在・未来～」を開催、詳細はp.2のとおり。

(4) 第4回報告会（2013年3月7日）

特別委員会運営委員会の開催にあわせて、兵庫県立大学の斉藤庸平教授と院生4名から淡路島で行っている防災まちづくりに関する報告会を開催、約25名の参加があった。

### 13) その他：研究交流事業特別委員会への支援について

日本都市計画学会が実施する研究交流事業は、研究交流事業特別委員会（本部）の実行組織として、各支部が持ち回りで事務局業務と審査業務を行っている。

本年度は関西支部内に支部幹事会を設置し事務局業務・審査を担当した。関西支部研究交流組織審査委員会は支部長、副支部長(3人)、総務委員長、研究発表委員長、企画委員長の計7名で構成し、2012年6月から活動を開始した。11月6日に審査を行い、6件の採択について本部の研究交流事業委員会と理事会に審査結果を報告した。

【報告事項1】

2012年度日本都市計画学会関西支部決算について

2012年4月1日から2013年3月31日まで

			(単位:円)			
大科目	中科目	予算額(a)	決算額(b)	差異(a)-(b)	備考	
<b>I. 事業活動収支の部</b>						
1. 事業活動収入						
① 事業収入		115,000	120,000	△ 5,000		
	文献資料収入	0	500	△ 500		
	講習会収入	15,000	1,500	13,500		
	発表会参加収入	100,000	118,000	△ 18,000		
② 寄付金収入	寄付金収入	0	0	0		
③ 雑収		0	117	△ 117		
	受取利息収入	0	117	△ 117		
	雑収	0	0	0		
事業活動収入計		115,000	120,117	△ 5,117		
2. 事業活動支出						
① 事業費支出		2,763,500	2,763,496	4		
	臨時雇賃金支出	190,000	221,000	△ 31,000		
	会議費支出	10,000	7,500	2,500		
	旅費交通費支出	463,100	216,860	246,240		
	通信運搬費支出	119,000	95,909	23,091		
	消耗品費支出	46,600	83,900	△ 37,300		
	印刷製本費支出	205,000	182,280	22,720		
	コンピュータ費支出	53,800	58,800	△ 5,000		
	賃借料支出	125,000	84,440	40,560		
	保険料支出	0	700	△ 700		
	諸謝金支出	380,000	187,906	192,094		
	支払助成金支出	400,000	300,000	100,000		
	委託費支出	676,000	1,236,928	△ 560,928		
	表彰費支出	80,000	72,500	7,500		
	雑支	15,000	14,773	227		
② 管理費支出		162,500	111,800	50,700		
	臨時雇賃金支出	0	0	0		
	会議費支出	0	3,880	△ 3,880		
	旅費交通費支出	7,000	4,180	2,820		
	消耗品費支出	40,000	26,750	13,250		
	通信運搬費支出	8,000	850	7,150		
	印刷製本費支出	70,000	38,640	31,360		
	賃借料支出	22,500	22,500	0		
	委託費支出	15,000	15,000	0		
事業活動収支差額		△ 2,811,000	△ 2,755,179	△ 55,821		

2012 年度関西支部決算 事業毎内訳

勘定科目名	(230) 関西支部		(41231) 国際事業		(41332) 会員サービス事業		(41333) 研究助成		(42131) 支部たより作成		(51131) 研究会等		(60031) まちづくり賞		(70031) 幹事会		(54031) 支部総会開催費		
	予算額	当期実績	予算額	当期実績	予算額	当期実績	予算額	当期実績	予算額	当期実績	予算額	当期実績	予算額	当期実績	予算額	当期実績	予算額	当期実績	
文庫資料収入	0	500	0	0	0	0	0	0	0	0	500	0	0	0	0	0	0	0	
講習会収入	15000	1,500	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15,000	0	0	0	0	0	0	
発表会参加費収入	100000	118,000	0	0	0	0	0	0	0	0	118,000	0	0	0	0	0	0	0	
寄付金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
受取利息収入	0	117	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	117	0	
<b>事業活動収入計</b>	<b>115,000</b>	<b>120,117</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>118,500</b>	<b>15,000</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>117</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
臨時雇賃金支出	190,000	221,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	190,000	221,000	0	0	
会議費支出	10,000	7,500	0	7,500	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
旅費交通費支出	463,100	216,860	25,000	6,300	15,000	9,150	0	0	19,000	3,600	12,490	230,000	97,230	55,000	101,100	61,160	0	0	
通信運搬費支出	119,000	95,909	0	210	0	210	0	1,260	75,000	70,702	630	4,000	1,050	0	40,000	18,825	0	0	
消耗品費支出	45,600	83,900	0	0	10,000	0	0	0	5,000	29,115	3,000	16,000	45,515	0	12,600	7,674	0	0	
印刷原簿本費支出	205,000	182,280	0	0	0	0	0	0	80,000	68,250	114,030	0	0	0	0	0	0	0	
コンピュータ費支出	53,800	58,800	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53,800	58,800	0	0	
賃借料支出	125,000	84,440	0	0	20,000	7,920	0	0	0	0	25,000	80,000	52,020	0	0	0	0	0	
保険料支出	0	700	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	700	0	0	0	0	0	
諸謝金支出	380,000	187,906	20,000	10,000	55,000	33,333	0	0	20,000	0	0	269,000	144,573	16,000	0	0	0	0	
助成金支出	400,000	300,000	0	0	0	0	400,000	300,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
委託費支出	676,000	1,236,928	0	0	0	0	0	0	60,000	55,685	16,000	65,243	0	0	600,000	1,100,000	0	0	
表費支出	80,000	72,500	0	0	0	0	0	0	0	0	20,000	0	0	60,000	52,500	0	0	0	
雑費支出	15,000	14,773	15,000	14,143	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	630	0	0	
その他の事業費支出	2,573,500	2,542,496	60,000	38,153	100,000	50,613	400,000	301,260	259,000	227,352	207,000	187,650	406,331	141,000	807,500	1,247,089	0	0	
事業費支出	2,763,500	2,763,496	60,000	38,153	100,000	50,613	400,000	301,260	259,000	227,352	207,000	187,650	406,331	141,000	997,500	1,468,089	0	0	
臨時雇賃金支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
会議費支出	0	3,880	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,880	
旅費交通費支出	7,000	4,180	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,000	4,180	
通信運搬費支出	40,000	26,750	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40,000	26,750	
消耗品費支出	8,000	850	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,000	850	
印刷原簿本費支出	70,000	38,640	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	70,000	38,640	
賃借料支出	22,500	22,500	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22,500	22,500	
委託費支出	15,000	15,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15,000	15,000	
管理費支出	162,500	111,800	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	162,500	111,800	
<b>事業活動収支差額</b>	<b>-2,811,000</b>	<b>-2,755,179</b>	<b>-60,000</b>	<b>-38,153</b>	<b>-100,000</b>	<b>-50,613</b>	<b>-400,000</b>	<b>-301,260</b>	<b>-259,000</b>	<b>-227,352</b>	<b>-107,000</b>	<b>-69,150</b>	<b>-584,000</b>	<b>-404,831</b>	<b>-141,000</b>	<b>-997,500</b>	<b>-1,467,972</b>	<b>-162,500</b>	<b>-111,800</b>

【第2号議案資料】

2013年度日本都市計画学会関西支部活動方針（案）

1) 主な事業の日程概要

2013年度活動予定表

4～6月	○関西支部総会（4月7日） ○関西まちづくり賞授与式(ま) ○特別委員会講演会(震)	○研究助成の募集(総) ○研究発表論文の募集・締切(研) ○都市計画シンポジウム（企）
7～9月	○研究助成の募集・締切(総) ○研究発表会の開催(研) ○都市計画国際交流会(国)	○都市計画講演会(第1回)(企) ○都市計画フィールドワーク(第1回)(企) ○関西まちづくり賞募集・締切(ま)
10～12月	○都市計画フィールドワーク(第2回)(企) ○海外都市計画交流会(国)	○学生と社会人との交流会(国) ○都市計画講演会(第2回)(企)
1～3月	○支部だよりの発行(編) ○都市計画シンポジウム(企) ○特別委員会講演会(震・企)	○関西まちづくり賞ヒアリング・選考(ま)

委員会名称：(総)総務委員会、(企)企画委員会、(会)会員・会計委員会、  
(編)編集・広報委員会、(ま)関西まちづくり賞委員会、(研)研究発表委員会、  
(国)国際交流委員会、(震)東日本大震災復興都市づくり特別委員会

2) 社会のニーズに対応したより円滑で活性化した支部活動について

支部活動は、会員、賛助会員へのサービスの充実のみならず社会への専門的な貢献を果たすために、さらなる円滑化、活性化を図る必要がある。そのため、以下の実現に努める。

- (1) 関西支部のこれまでの蓄積と成果を踏まえ、出身とする専門分野や京阪神という活動の場の違い、あるいは産官学といった垣根を越えた業際・学際的な人的関係の充実を図るとともに、世代間の連携を図る。特に、これからの関西の都市計画分野を支える人材の発掘と育成支援を積極的に行う。
- (2) 支部活動の広報・連絡活動のインフラとしての Web システムのより一層の充実と効率的な運用を通じて、関西の都市計画、まちづくりに関する情報収集に努め、これに関わる多様な担い手の交流の場をつくるとともに、全国に向けて積極的に関西での取り組みを発信していく。
- (3) 都市計画分野の継続教育（CPD 活動）に資するプログラム（都市計画シンポジウム、都市計画講演会、研究発表会等）をさらに充実して開催する。
- (4) 支部活動の基本である各委員会活動により多くの会員の参加を求める。そのため、会員の増強を図り、委員の公募を積極的に進める。
- (5) 関連する学会・業界団体等との関係を深め、イベントの共催などを通じて多様な人材の交流と学習の場を用意する。
- (6) 支部予算が削減される状況の下で、会員サービスの低下を招かないように支部活動を限られ

た予算の中でより効率的・効果的に展開するため、現在の委員会構成や実施事業の見直しについて検討を進める。

### 3) 都市計画講演会及びシンポジウム・都市計画フィールドワークの開催

先進的で独自性の高い発想に基づく関西の特色あるまちづくりの展開に資するよう、計画分野に関わる新たな動向をとらえ、多角的に考える機会となるような講演会・シンポジウムならびに都市計画フィールドワークを企画開催する。人口減少下での持続可能な都市・地域づくりが求められるなか、計画の考え方や役割が変化しており、計画技術だけでなく、社会的・経済的・文化的観点から広く計画に関わるテーマをとらえ、「現場を見る」「一緒に議論する」「人に出会う」などの参加することの魅力を高める工夫により、会員の関心に応えていくことをめざす。

### 4) 広報について

「日本都市計画学会関西支部だより」No. 28 を発行し、関西を中心とする都市計画・まちづくりに関する論説、話題、事業の紹介等を行う。No. 28 の掲載内容については、各委員会活動報告記事のWeb掲載との連動等を検討し、紙面構成の見直し（ページ数削減）による発行経費の軽減を図る。

また、本部機関誌「都市計画」に毎号掲載される「支部だより」の企画編集を行い、関西支部の活動や関西の都市計画に関する情報を全国に発信する。

### 5) 研究助成「都市計画研究会」について

新規・継続合わせて4件の支部研究助成(新規:1件8万円/年、継続:1件10万円/年)を行う。

これからの担う若手研究者育成のため、支部研究助成金のうち少なくとも一件を若手研究者に優先的に割り当てる。

支部予算が削減される状況下で、20年間に亘り実施してきた研究助成の成果を検証しつつ、今後のあり方を検討する。

参考:【資料5】

### 6) 国際・学生交流の推進

年1回、東南アジアなどに都市計画視察団を派遣し交流を深める海外都市計画交流会を開催する。さらに、海外の都市計画の専門家による講演とそれに基づく意見交換など、国際的な都市計画専門家や留学生との人的ネットワーク形成を推進する。

新規会員の獲得を目指し、都市計画に関心を持つ学生と社会人とが交流し情報交換を持つ場として「学生と社会人の交流会」を実施する。

### 7) 関西まちづくり賞について

関西で実施された都市計画・まちづくりに関する調査、計画、設計、事業及びまちづくり活動に

おける顕著な成果・実績、新しい取り組み、継続的な取り組み等について、広く募集・推薦を求め、関西まちづくり賞の表彰を行う。

そのため、まちづくり賞の社会的位置づけを明確にし、その趣旨をわかりやすく発信し、できるだけ多くの応募・推薦を集める努力を行い、授賞対象を関西における実績として評価し、かつその将来性について情報発信する。

賞の応募・推薦内容については、応募者ヒアリングや現地視察を実施の上、公正な審査を行い、委員会で十分議論し、審査経過、審査結果の講評を公開する。

参考【資料6】

## 8) 研究発表会について

2013年度第11回関西支部研究発表会を、7月27日(土)大阪市立大学文化交流センター・ホール(大阪駅前第2ビル6F)にて開催する。投稿および発表会への参加については、大学等の教育研究機関関係者だけではなく、広く、行政関係者・民間企業・コンサルタント関係者等、都市計画の第一線で活躍されている方々の参加を歓迎する。

なお、今年度の投稿申込締切は、5月21日(火)、原稿提出締切は6月25日(火)としている。応募方法や原稿執筆要領等の詳細は、支部ホームページ(<http://www.cpij-kansai.jp/contents/committee/detail.cgi?id=25>)に掲載している。

参考：【資料7】

## 9) 委員会への会員公募参加について

各種委員会の委員を公募する。

参考：【資料8】

## 10) 特別委員会「東日本大震災復興都市づくり特別委員会」の活動について

被災自治体に派遣された職員へのヒアリング調査並びに派遣元・派遣先自治体へのヒアリングを行うとともに、来るべき南海トラフ地震に備えた研究を行うため、委員会を定期的で開催するとともに、公開報告会を引き続き開催する。なお、本年度秋に開催される都市計画学会の全国大会ワークショップで中間報告を行う。

【報告事項2】

2013年度日本都市計画学会関西支部 収支予算書：本部様式

2013年4月1日から2014年3月31日まで

(単位：円)

科 目		平成25年度予	平成24年度予	増減(a)-(b)	備 考
大 科 目	中 科 目	算額(a)	算額(b)		
I. 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
④ 事業収入		190,000	115,000	75,000	
	論文集収入	0	0	0	
	文献資料収入	0	0	0	
	論文審査料収入	0	0	0	
	講習会収入	50,000	15,000	35,000	
	CPD事業収入	0	0	0	
	発表会参加費収入	140,000	100,000	40,000	
	調査受託収入	0	0	0	
	購読料収入	0	0	0	
	広告料収入	0	0	0	
	都市計画マニュアル収入	0	0	0	
	DVD全集収入	0	0	0	
	会誌DVD全集収入	0	0	0	
⑤ 寄付金収入	寄付金収入(B)	0	0	0	
⑥ 雑収入	受取利息収入	0	0	0	
	雑収入	0	0	0	
事業活動収入計		190,000	115,000	75,000	
2. 事業活動支出					
① 事業費支出		2,413,300	2,763,500	▲ 350,200	
	臨時雇賃金支出	190,000	190,000	0	
	会議費支出	10,000	10,000	0	
	旅費交通費支出	274,000	463,100	▲ 189,100	
	通信運搬費支出	102,500	119,000	▲ 16,500	
	消耗品費支出	67,000	46,600	20,400	
	印刷製本費支出	215,000	205,000	10,000	
	コンピューター費支出	58,800	53,800	5,000	
	賃借料支出	130,000	125,000	5,000	
	諸謝金支出	270,000	380,000	▲ 110,000	
	租税公課支出	0	0	0	
	支払負担金支出	0	0	0	
	広告手数料支出	0	0	0	
	助成金支出	360,000	400,000	▲ 40,000	
	委託費支出	656,000	676,000	▲ 20,000	
	表彰費支出	65,000	80,000	▲ 15,000	
	雑費支出	15,000	15,000	0	
② 管理費支出		152,000	162,500	▲ 10,500	
	臨時雇賃金支出	0	0	0	
	会議費支出	0	0	0	
	旅費交通費支出	4,000	7,000	▲ 3,000	
	通信運搬費支出	82,000	40,000	42,000	
	消耗品費支出	1,000	8,000	▲ 7,000	
	印刷製本費支出	20,000	70,000	▲ 50,000	
	コンピューター費支出	0	0	0	
	水道光熱費支出	0	0	0	
	賃借料支出	35,000	22,500	12,500	
	地代家賃支出	0	0	0	
	保険料支出	0	0	0	
	諸謝金支出	0	0	0	
	租税公課支出	0	0	0	
	負担金支出	0	0	0	
	委託費支出	10,000	15,000	▲ 5,000	
	寄付金支出	0	0	0	
	雑費支出	0	0	0	
事業活動支出計		2,565,300	2,926,000	▲ 360,700	

2013 年度関西支部予算 事業毎内訳

事業区分コード	41231	41332	41333	42131	51131	51931	60031	70031	70032	30431
科目	国際事業	会員サービス事業	研究助成	支部だより作成	研究発表会	講演会等企画事業	まちづくり賞	幹事会	インターネット	総会開催費(管理支出)
事業収益										
受取寄付金										
諸収益										
講習会収入	0	0	0	0	0	50,000	0	0	0	0
発表会参加費収入	0	0	0	0	140,000	0	0	0	0	0
経常収益計	0	0	0	0	140,000	50,000	0	0	0	0
給料手当	0									
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	0	0	190,000	0	0
退職給付費用										
福利厚生費										
会議費	0	0	0	0	0	0	10,000	0	0	0
旅費交通費	15,000	5,000	0	16,000	18,000	100,000	40,000	80,000	0	4,000
通信運搬費	0	0	0	70,000	0	2,500	0	30,000	0	82,000
減価償却費										
消耗品費	0	5,000	0	24,000	3,000	5,000	0	30,000	0	1,000
印刷製本費	0	0	0	60,000	125,000	30,000	0	0	0	20,000
コンピュータ費	0	0	0	0	0	0	0	58,800		0
光熱水道費										
賃借料	0	20,000	0	0	25,000	85,000	0	0	0	35,000
地代家賃										
保険料										
諸謝金	20,000	50,000	0	15,000	0	170,000	15,000	0	0	0
租税公課										
助成金			360,000							
支払負担金										
広告手数料										
委託費	0	0	0	40,000	16,000	100,000	0	500,000	0	10,000
表彰費	0	0	0	0	20,000	0	45,000	0	0	0
雑費	15,000									
経常費用費	50,000	80,000	360,000	225,000	207,000	492,500	110,000	888,800	0	152,000

**【第3号議案資料】日本都市計画学会関西支部規程（改正案）**

**新旧対照表（改訂部分のみ）**

改正前(旧)	改正後(新)
<p><b>【支部事務局の所在地】</b>            第2条 本支部は、事務局を次に置く。            大阪市中央区大手前1-7-31            大阪マーチャンダイズ・マートビル（OMMビル）            13階 （財）大阪市都市工学情報センター内</p> <p><b>【附則】</b>            （施行期日）            1.この規程は、1991年10月3日から施行する。            2.この規程は、2005年4月26日から施行する。            3.この規程は、2007年4月24日から施行する。            4.この規程は、2010年4月13日から施行する。            5.この規程は、2012年4月21日から施行する。</p>	<p><b>【支部事務局の所在地】</b>            第2条 本支部は、事務局を次に置く。            京都市下京区立売西町82            京都恒和ビル6階            (株)地域計画建築研究所内</p> <p><b>【附則】</b>            （施行期日）            1.この規程は、1991年10月3日から施行する。            2.この規程は、2005年4月26日から施行する。            3.この規程は、2007年4月24日から施行する。            4.この規程は、2010年4月13日から施行する。            5.この規程は、2012年4月21日から施行する。            6.この規程は、2013年4月7日から施行する。</p>

## 【資料 1】

### 公益社団法人日本都市計画学会関西支部規程（現行）

#### 【支部の名称】

第1条 この支部は、公益社団法人日本都市計画学会関西支部（以下「本支部」という）という。

#### 【支部事務局の所在地】

第2条 本支部は、事務局を次に置く。  
大阪市中央区大手前1-7-31  
大阪マーチャンダイズ・マートビル（OMMビル）13階（財）大阪市都市工学情報センター内

#### 【支部の地域と構成】

第3条 本支部の地域は次の通りで、この地域に勤務または在住する公益社団法人日本都市計画学会の会員をもって構成する。ただし、複数の支部の会員にはなれないこととする。  
滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県

#### 【目的と事業】

第4条 本支部は、公益社団法人日本都市計画学会定款第4条及び第5条に定める目的ならびに事業の規定に準拠して、必要な事業を行うことを目的とする。

#### 【支部役員】

第5条 本支部に次の役員を置く。  
（1）支部長 1名  
（2）副支部長 3名  
（3）幹事 30名以下  
2. 本支部に顧問を若干名置くことができる。

#### 【支部役員を選任】

第6条 幹事及び顧問は、本支部を構成する会員のうち学会定款第5条に規定する正会員（以下「正会員」という）の中から本規程の定める総会で選任し、支部長及び副支部長候補者を幹事の中から総会で指名する。  
2. 支部長及び副支部長は支部長および副支部長候補者の中から、学会理事会で選任する。  
3. 支部役員は、第3条の規定による支部会員の資格に変更があるときは直ちに支部長に報告し、その任を辞さなければならない。

#### 【支部役員の職務】

第7条 支部長は、本支部を代表して会務を総理し、本支部の総会及び幹事会の議長を務める。  
2. 副支部長は、支部長を補佐し、支部長に事故あるときは、その職務を代行する。  
3. 幹事は、幹事会を組織して本支部の会務を議決し、処理する。

#### 【支部役員の任期】

第8条 支部役員の任期は2年とする。ただし再任をさまたげない。  
2. 補欠により選任された支部役員の任期は、前任者の残任期間とする。

#### 【支部役員候補】

第9条 支部役員が欠けたときは、第6条の規定に準じて当該役員を選任する。

#### 【支部総会】

第10条 本支部の定時総会は毎年1回、会計年度終了後2か月以内に支部長が招集して開催する。  
2. 本支部の臨時総会は、幹事会が必要と認めたとき、または本支部所属会員のうち総正会員現在数の5分の1以上から請求があったとき、支部長が招集して開催する。

#### 【支部総会の議決事項】

第11条 本支部の総会は、本規定の変更及びこの規程で別に定める事項のほか、次の事項を議決する。  
（1）次年度の事業計画に関する事項  
（2）その他、幹事会で必要と認めた事項

#### 【支部総会の議決】

第12条 本支部の総会は、支部所属の総正会員現在数の5分の1以上が出席しなければ、その議事を開き議決することができない。ただし、当該事項について書面をもってあらかじめ意思を表示した者は出席者とみなす。  
2. 本支部の総会の議事は、出席正会員の過半数で決し、可否同数のときは議長がこれを決する。

**【幹事会】**

第13条 本支部の幹事会は、原則として年4回以上、支部長が招集して開催する。

**【幹事会の議決事項】**

第14条 本支部の幹事会は、この規程で別に定める事項のほか、総会に提出する議案、及びその他本支部の会務運営に関する事項を議決する。

**【幹事会の議決】**

第15条 本支部の幹事会は、幹事現在数の2分の1以上が出席しなければ、その議事を開き議決することができない。ただし、当該事項について書面をもってあらかじめ意思を表示した者は出席とみなす。

2. 本支部の幹事会の議事は、出席幹事の過半数で決し、可否同数のときは議長がこれを決する。

**【委員会の設置】**

第16条 本支部の会務の運営ならびに第4条の目的達成のために委員会を設置する。

2. 委員会の設置は幹事会の議決によって行い、支部長が委員を委嘱する。

3. 委員会の廃止、及び委員の解職は第2項の規定に準じて行う。

**【研究会の設置】**

第17条 本支部が、第4条の目的達成のために必要あるときは、研究会を設置することができる。

2. 研究会の設置は幹事会の議決によって行い、支部長が委員を委嘱する。

3. 研究会の廃止、および委員の解職は第2項の規定に準じて行う。

**【支部の経費と経理】**

第18条 本支部の経理は、公益社団法人日本都市計画学会経理規程に準じて行う。

**【規程の改正と変更】**

第19条 この規程は、幹事会および総会において、おのおの出席者の4分の3以上の議決を経なければ変更することができない。

**【補則】**

第20条 この規程施行についての細則は、幹事会の議決を経て別に定める。

**【附則】**

(施行期日)

1. この規程は、1991年10月3日から施行する。

2. この規程は、2005年4月26日から施行する。

3. この規程は、2007年4月24日から施行する。

4. この規程は、2010年4月13日から施行する。

5. この規程は、2012年4月21日から施行する。

## 【資料2】

### 日本都市計画学会関西支部規程細則

委員会の設置に関する細則

(1993年5月14日、11月12日、及び1998年12月25日、2001年3月21日、2003年3月19日、2007年3月16日、2008年3月13日、2009年3月12日、2010年5月27日、2011年5月31日改訂)

#### 【委員会の設置】

第1条 日本都市計画学会関西支部規程(以下「規程」という)第16条の規定により、次の委員会を設置する。

- (1) 総務委員会
- (2) 企画委員会
- (3) 会員・会計委員会
- (4) 編集・広報委員会
- (5) 国際交流委員会
- (6) 関西まちづくり賞委員会
- (7) 研究発表委員会
- (8) その他の特別委員会

#### 【委員会の事務分担】

第2条 総務委員会は、関西支部(以下「支部」という)の総務に関する事務を担当し、日本都市計画学会(以下「本部」という)との連絡調整を行う。また、支部のウェブサイトに関する事務を統括し、情報システムの整備と活用に関する事務を担当する。

- 2 企画委員会は、支部の行う学術活動、都市計画の実施事例の調査研究、事業の企画、ならびにその実施に関する事務を担当し、本部の事業実施に協力する。
- 3 会員・会計委員会は、支部会員に関する事務と、支部の会計に関する事務を担当する。
- 4 編集・広報委員会は、支部会員への広報に関する事務を担当し、本部の編集・広報活動に協力する。
- 5 国際交流委員会は、都市計画に関する国際的学術交流の企画、ならびにその実施に関する事務を担当し、本部の国際交流に関する事業に協力する。
- 6 関西まちづくり賞委員会の事務分担は、別に定める「関西まちづくり賞委員会要項」による。
- 7 研究発表委員会は、都市計画に関する調査研究論文を募集し、その発表会を開催する。
- 8 特別委員会の事務分担は幹事会が定める。

#### 【委員会の構成及び委嘱】

第3条 各委員会は、委員長1名と、副委員長・委員若干名によって構成する。

- 2 委員長は委員会を総括し、その活動状況を適宜幹事会に報告しなければならない。
- 3 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代行する。
- 4 委員長・副委員長は、幹事の中から支部長が委嘱する。
- 5 委員は、支部会員の中から支部長が委嘱する。
- 6 委員長・副委員長、および委員の任期は2年とする。ただし、再任はさまたげない。
- 7 その他の特別委員会の委員長・副委員長は上記の適用除外とする。

#### 【補足】

この細則は2011年5月31日から施行する。

【資料3】

日本都市計画学会関西支部会員数

各年度末		名誉 会員	正会員	外国人 会 員	学生 会員	賛助 会員	合計
支部発足時	91.9.2	1	648	14	35	44	742
'91	92.3.31	1	649	17	34	95	796
'92	93.3.31	1	641	21	23	105	791
'93	94.3.31	1	701	26	21	119	868
'94	95.3.31	1	723	32	9	119	884
'95	96.3.31	1	757	39	14	119	930
'96	97.3.31	1	759	30	27	118	935
'97	98.3.31	2	786	34	40	118	981
'98	99.2.17	2	817	35	31	113	1,000
'99	00.1.21	0	835	31	23	111	1,002
'00	01.3.16	0	850	29	13	104	998
'01	02.3.8	2	811	20	6	94	933
'02	03.2.6	1	833	25	27	91	977
'03	04.3.12	2	787	23	30	84	926
'04	05.3.9	2	807	14	23	75	921
'05	06.1.1	3	840	—	34	71	948
'06	07.1.26	3	810	—	33	67	913
'07	08.1.22	4	799	—	31	65	899
'08	09.3.10	4	763	—	25	57	849
'09	10.3.5	4	776	—	18	51	849
'10	11.3.4	5	774	—	19	51	849
'11	12.3.16	7	780	—	19	44	850
'12	12.3.16	7	727	—	40	41	815

【資料4】

日本都市計画学会関西支部予算（交付金）の推移

科目	2013 予算	2012 予算	2011 予算	2010 予算	2009 予算	2008 予算	2007 予算	2006 予算	2005 予算	2004 予算	2003 予算
支部交付金(1)	300,000	300,000	300,000	300,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
支部交付金(2)	755,040	1,014,000	1,731,000	1,001,800	995,800	1,037,400	1,053,000	1,055,600	1,060,800	1,055,600	1,047,800
支部交付金(3)	1,140,000	1,497,000	1,015,300	1,860,000	1,776,000	2,013,000	2,103,000	2,208,000	2,451,000	2,664,000	2,706,000
支部交付金(4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
支部交付金(5)	180,260	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
支部交付金 合計	2,375,300	2,811,000	3,046,300	3,161,000	2,871,800	3,150,400	3,256,000	3,363,600	3,611,800	3,819,600	3,853,800

交付金区分 (1): 基本額 (2): 正会員交付金 (3): 賛助会員交付金 (4): 受託研究事務費 (5): その他

## 【資料5】

### 研究助成「都市計画研究会」の募集 応募要領（2013年度）

#### 1. 助成対象および助成期間

関西支部に所属する本学会会員（支部会員）によって構成される都市計画に関する研究を行なう研究会を、2年間にわたって助成します。

- 1) 研究会の構成員は複数名以上とし、その1/2以上が支部会員であることとします。
- 2) 非会員である構成員は、助成決定後、本学会に入会することが望まれます。

#### 2. 助成件数、助成額および義務

- 1) 本年度は4件以内の研究会に助成します。うち少なくとも一件は若手研究者による研究会に優先的に割り当てます。
- 2) 1研究会あたり、今年度からの新規助成は年8万円まで、昨年度からの継続助成は年10万円までの助成を行ないます。
- 3) 助成を受けた研究会の成果は、助成期間終了後、半年以内に支部ホームページ上でその概要を公表するか、もしくは適切な公表の機会を持つこととします。

#### 3. 応募要領および締め切り

助成募集に応募する研究会は、支部会員1名を含む2名以上の発起人の連名で、次の事項を明記した「研究会助成願い」（様式は、支部ホームページを参照）を支部長あてに提出して下さい。

##### 1) 助成願いに明記する事項

- ・研究会の名称
- ・研究会代表者の氏名、連絡先
- ・研究の課題および目的
- ・研究会構成員の名簿（所属、身分、専門分野、年齢、会員種別）
- ・研究計画の概要（2年間分）
- ・予算計画

##### 2) 応募締め切り

- ・2013年8月末日

#### 4. 選考方針

支部幹事会において以下の方針で選考を行ないます。

##### 1) 選考方針

- ・研究会構成員の所属・分野の多様性
- ・研究課題の重要性・斬新性
- ・研究課題および対象の地域性（関西地域への関わりの深さ）

##### 2) 若手研究による研究会の定義

- ・研究会構成員の全員が37歳以下で、かつ、構成員に20代の者が含まれている研究会

#### 5. 選考結果の通知および公表

選考は、応募締め切り後の直近の幹事会において行い、結果を直ちに発起人あてに連絡するほか、選考結果の概要を支部ホームページに掲載します。

#### 6. 送付先

「研究会助成願い」は、メールにて下記にお送り下さい。

公益社団法人日本都市計画学会関西支部事務局

〒600-8007 京都市下京区立売西町82 京都恒和ビル6階

(株)地域計画建築研究所内 Tel 075-708-6191 Fax 075-256-1764

E-mail : cmt\_general@cpij-kansai.jp

【資料6】

関西まちづくり賞受賞実績

年 度	受賞対象（所在地）	
第 15 回 2012 年度	寝屋川市駅東地区 第二種市街地再開発事業 ＜大阪府 寝屋川市＞	株式会社大林組／株式会社東畑建築事務所／株式会社エス・ジー都市経営／株式会社まちづくり工房・晴／寝屋川市
	修徳まちづくり憲章 ＜京都府 京都市＞	修徳自治連合会／修徳まちづくり委員会／公益財団法人京都市景観まちづくりセンター／京都大学大学院工学研究科建築学専攻門内研究室／社団法人京都府建築士会まちづくり委員会
	～大阪駅が“まち”になる～「大阪ステーションシティ」の開発 ＜大阪府 大阪市＞	西日本旅客鉄道株式会社／大阪ターミナルビル株式会社
	（まちおこし賞） さまざまな地域資源を活用した都市農村交流事業による村づくり ＜兵庫県 多可町＞	兵庫県多可郡多可町加美区観音寺集落
第 14 回 2011 年度	都市農村連携による交流拠点施設「ささらい」の整備運営 ＜兵庫県 篠山市＞	日置地区里づくり協議会／藤岡敏夫・亜樹子（芦屋ぷりん とあつせ）
	旧二葉小学校校舎の保存再生と神戸市立地域人材支援センター管理運営 ＜兵庫県 神戸市＞	旧二葉小学校の活用検討委員会／特定非営利活動法人ふたば
	市街地再開発事業から防災街区整備事業に切り替えて「身の丈に合った再開発」を実現 ＜大阪府 岸和田市＞	東岸和田駅東地区防災街区整備事業組合／西松建設株式会社／株式会社石本建築事務所／大和ハウス工業株式会社／株式会社都市問題経営研究所／ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社
第 13 回 2010 年度	モノづくりのまち高井田・住工共生のまちづくり ＜大阪府 東大阪市＞	高井田まちづくり協議会／東大阪市／大阪府／有限会社ハートビートプラン
	宗右衛門町地区における地区計画の策定とまちづくり ＜大阪府 大阪市＞	宗右衛門町活性化協議会／大阪市
	空き家を活用したゲストハウスを核とした観光まちづくり ＜兵庫県 姫路市＞	特定非営利活動法人いえしま
第 12 回 2009 年度	都心型地域コミュニティによる水辺の再生 ＜大阪府 大阪市＞	東横堀川水辺再生協議会
	大阪の歴史的都心「船場」のまちづくり ＜大阪府 大阪市＞	船場げんきの会
第 11 回 2008 年度	大阪市北区豊崎における長屋スポットの保全・再生プロジェクト ＜大阪府 大阪市＞	大阪市立大学豊崎プラザ（吉田薺・谷直樹・藤田忍・竹原義二・小池志保子）
	「加古川市田園まちづくり制度」を活用した高畑地区、粟栗地区のまちづくり ＜兵庫県 加古川市＞	高畑地区まちづくり協議会／粟栗地区まちづくり協議会／加古川市／昭和株式会社
	歴史的景観を保全する国際作業キャンプによるまちおこし ＜奈良県 明日香村＞	景観ボランティア明日香／財団法人明日香村地域振興公社
第 20 回 2007 年度	六甲道駅南地区震災復興第二種市街地再開発事業における都市デザイン、そのプロセス ＜兵庫県 神戸市＞	神戸市／六甲道駅南地区まちづくり連合協議会／六甲道都市環境デザイン調整会議／株式会社環境開発研究所／株式会社アール・アイ・エー／株式会社安井建築設計事務所／株式会社日本設計／株式会社現代計画研究所／株式会社G K設計／株式会社ジオ・アカマツ／株式会社ヘッズ／株式会社魁景観研究所
	自治会組織を活用したまちづくり ＜大阪府 堺市＞	中区域まちづくり考房
第 9 回 2006 年度	浜甲子園さくら街(第 1 期建替)「タウンスケープをつくる団地再生デザイン」 ＜兵庫県 西宮市＞	独立行政法人都市再生機構西日本支社／株式会社現代計画研究所大阪事務所／株式会社 UR サポート／株式会社昭和設計／株式会社空間創研

	レガッタによる兵庫運河の再生とまちづくり ＜兵庫県 神戸市＞	キャナルレガッタ神戸実行委員会／浜山C a n成る倶楽部／和田岬はちのすクラブ／スポーツクラブめいしん／神戸市兵庫区まちづくり推進課
	人をつなぎまちを創るかなめー「NPO花と観音の里」のTMO活動 ＜滋賀県 高月町＞	特定非営利活動法人花と観音の里
第8回 2005年度	紀伊湯浅における、住民手づくりの活動から育った町並み再生 ＜和歌山県 湯浅町＞	湯浅町熊野古道研究会
	新門前西之町における地区計画策定の取り組み ＜京都市東山区新門前通西之町＞	西之町まちづくり協議会
	庄屋屋敷を活用した平成の町衆によるまちづくり －吹田歴史文化まちづくりセンター（浜屋敷）－ ＜大阪府 吹田市＞	吹田歴史文化まちづくり協会
	（まちづくり貢献賞） 兵庫県立淡路景観園芸学校における「まちづくりガーデナー」育成の取り組みと修了者の活動 ＜兵庫県 淡路市＞	兵庫県立淡路景観園芸学校
第7回 2004年度	四番町スクエアのまちづくり ＜滋賀県 彦根市＞	彦根市／彦根市本町土地区画整理組合
	このまちに 新たな緑を 育て隊！ 伝え隊！ ＜兵庫県 宝塚市＞	雲雀丘山手緑化推進委員会
	市民協働による寝屋川親水空間整備事業 ＜大阪府 寝屋川市＞	寝屋川市
第6回 2003年度	社会実験『リバーカフェ SUNSET37』 ＜大阪府 大阪市＞	都市大阪創生研究会 IKINA 水辺チーム
第5回 2002年度	京都の都心界限における地域共生のまちづくりの取組 ＜京都府 京都市＞	地域共生の土地利用検討会／姉小路界限を考える会／株式会社アーバネックス／財団法人京都市景観・まちづくりセンター／京都大学大学院工学研究科建築学専攻高田研究室／株式会社地域計画建築研究所／株式会社現代計画研究所大阪事務所／京・まち・ねっと
第4回 2001年度	芦屋市若宮地区震災復興住環境整備事業に関する取り組みとその成果 ＜兵庫県 芦屋市＞	芦屋市建設部／若宮地区まちづくり協議会／ジュー計画研究所 株式会社現代計画研究所大阪事務所
	門真市末広南地区における魅力的なまちなかづくりの取り組み ＜大阪府 門真市＞	門真市／門真市末広南土地区画整理組合／有限会社コイケデザインコラボレーション
	梅田地域共通サインシステムの創出とその維持・管理 ＜大阪府 大阪市＞	梅田ターミナル地域サイン整備連絡会／財団法人大阪市都市工学情報センター／株式会社ジェネシス
第3回 2000年度	震災復興新長田駅北地区東部のまちづくり ＜兵庫県 神戸市＞	新長田駅北地区東部いえなみ委員会／久保都市計画事務所
	歩いて暮らせる街づくりの取り組みとまちなかを歩く日の実践 ＜京都府 京都市＞	京都市都市計画局都市づくり推進課／歩いて暮らせる街づくり推進会議：事務局
第2回 1999年度	「大阪府災害に強い都市づくりガイドライン」の策定と普及、活用 ＜大阪府＞	大阪府建築都市部
	御坊市宮島団地再生事業に関する取り組みとその成果 ＜和歌山県 御坊市＞	御坊市島団地対策室／神戸大学発達科学部人間環境科学科平山研究室／株式会社現代計画研究所大阪事務所
第1回 1998年度	官民共同の新しいまちづくり活動支援 ＜兵庫県＞	阪神大震災復興市民まちづくり支援ネットワーク
	官民協同の新しいまちづくり：西宮マリーナパークシティ ＜兵庫県 西宮市＞	西宮浜地区事業者連絡調整会

## 【資料7】

### 「第11回 関西支部研究発表会」 開催案内および発表の募集

研究発表委員会

支部の活動をより活発なものとし、会員の輪を広げることを目的として、若手研究者や行政、コンサルタント等支部会員の皆様の研究発表・事例報告や交流の場として、「第11回関西支部研究発表会」を下記の要領で開催します。

#### (1)開催時期等今後のスケジュールと発表申し込み方法等

##### 1) 発表申込締切：2013年5月21日(火)

申込みは下記宛メールにより受け付けます。メールには、①論文題目、②発表者名(ふりがな)、連名者名(ふりがな)、③会員番号(会員のみ)、④所属、⑤連絡先情報(電話、Fax、メールアドレス)を明記してください。

##### 2) 原稿提出締切：2013年6月25日(火)

メールに原稿ファイルを添付して上記締め切り日までに送付下さい。

原稿は「原稿執筆要領(下記URL)」に従って作成し、WordとPDFファイル形式との両方を提出してください。(http://www.cpij-kansai.jp/cmt\_kenhap/top/2013/form.pdf)

##### 3) 研究発表会：2013年7月27日(土) 10:00～17:00(表彰式・交流会 18:00～20:00)

発表時間は一人あたり8～10分を予定しています。

注：発表申込み件数により少し変更が生じる可能性もあります。

##### 4) 会場：大阪市立大学文化交流センター・ホール(大阪駅前第2ビル6階)

注：申込者は後日編成するプログラムにそって、必ず発表してください。

#### (2)応募資格

発表者、連名者のいずれかが会員であること。

(連名者が会員であれば発表者は非会員でも可。賛助会員による発表も歓迎します。)

#### (3)研究発表内容について

研究発表会では、都市計画、まちづくりに関する萌芽的研究の紹介、各地の先端的、ユニークな都市計画事例報告等、関西支部会員の都市計画活動に参考になる研究発表を歓迎します。研究発表の場での座長からの講評やフロアとのディスカッションをもとに、完成された研究論文に仕上げていかれることも期待します。なお、内容は関西支部研究発表会に相応しい内容を備えたものとし、その採否は研究発表委員会に一任されることとします。

#### (4)研究発表概要集

発表者によって作成されたA4サイズ4ページの原稿を用い、研究発表概要集として冊子を作成します。

また、発表会後にHP上にも掲載します。

#### (5)研究発表概要集掲載料(2013年度より)

研究発表概要集への掲載が決まった発表については、1件2,000円の掲載料を発表会当日に徴収させていただきます。(なお、当日の参加料3,000円は別途徴収させていただきます。)

#### (6)奨励賞表彰

すぐれた研究発表を行った発表者に奨励賞を授与します。

#### (7)申込先・問合せ先

〒558-8585

大阪市住吉区杉本3-3-138

大阪市立大学大学院工学研究科 佐久間康富(編集担当)

TEL/FAX: 06-6605-2717

E-Mail: kenhap@cpij-kansai.jp

## 【資料8】

### 各種委員会委員の公募 募集要領

下記のような要領で、各種委員会の委員を公募します。  
委員会活動に加わり、学会活動を通じて、経験や学識を深めるとともに、ネットワークを広げたいという意向をお持ちの方は、奮って応募ください。

#### 1. 委員公募委員会 (HP 掲載の常置委員会の取組概要参照のこと)

- ・企画委員会
- ・編集・広報委員会
- ・国際交流委員会
- ・研究発表委員会

(注：総務委員、会員・会計委員、関西まちづくり賞委員は、支部委員としての経験者が望ましいと考えられるため、募集の対象外とします。)

#### 2. 応募資格および審査

- ・本学会の会員であり、関西支部に所属する方。  
(応募時に非会員の方は、決定後入会することを原則とします。)
- ・資格ではありませんが、コンサルタントや行政に勤務の方および学生の方の応募を期待します。
- ・支部幹事会において応募内容を審議し、決定後直ちに、応募者に結果を報告します。

#### 3. 応募方法

##### ・応募書類

A4 用紙 1 枚に、応募する委員会名、氏名、連絡先、年齢、会員種別、略歴(学歴、職歴)、これまでの業績の概要、学会活動に関する抱負をまとめ、支部長宛て提出してください。

##### ・応募時期

毎年 7 月末締め切り

##### ・提出先

「応募書類」は、メールにて下記にお送り下さい。

公益社団法人日本都市計画学会関西支部事務局

〒600-8007 京都市下京区立売西町 82 京都恒和ビル 6 階

（〒）地域計画建築研究所内 Tel 075-708-6191 Fax 075-256-1764

E-mail : cmt\_general@cpij-kansai.jp

【資料9】

日本都市計画学会関西支部役員および委員（2013年3月1日現在）

顧問	天野 光三	三輪 泰司	森 康男	平峯 悠
	土井 幸平	飯田 恭敬	浅野 誠	青山 吉隆
	金井 萬造	藤田 健二	岩本 康男	安田 丑作
	鳴海 邦碩	正木 啓子	千葉 桂司	榊原 和彦
	杉原 五郎	上原 正裕	福島 徹	宮前 保子
支部長	増田 昇	大阪府立大学	研究交流事業特別委員会委員長	
副支部長	小谷 通泰	神戸大学	会員・会計委員会委員長、研究交流事業特別委員会副委員長	
副支部長	佐藤 道彦	大阪市	研究交流事業特別委員会副委員長	
副支部長	堀口 浩司	地域計画建築研究所	東日本大震災復興都市づくり特別委員会副委員長、研究交流事業特別委員会事務局長	
幹事	一宮 大祐	兵庫県	企画委員会副委員長	
	加我 宏之	大阪府立大学	総務委員会副委員長	
	上甫木昭春	大阪府立大学	東日本大震災復興都市づくり特別委員会副委員長	
	川田 均	大阪市	研究発表委員会副委員長	
	神吉紀世子	京都大学	編集・広報委員会委員長	
	小浦 久子	大阪大学	企画委員会委員長	
	澤木 昌典	大阪大学	総務委員会委員長	
	柴田 祐	大阪大学	国際交流委員会委員長	
	壽崎かすみ	龍谷大学	編集・広報委員会副委員長	
	田中 康	ヘッズ	関西まちづくり賞委員会副委員長	
	中川 大	京都大学	関西まちづくり賞委員会委員長	
	中山 徹	奈良女子大学	企画委員会副委員長	
	西江 誠	大阪市	関西まちづくり賞委員会副委員長	
	平田富士男	兵庫県立大学	研究発表委員会委員長	
	松島 格也	京都大学	会員・会計委員会副委員長	
	松村 暢彦	大阪大学	研究発表委員会副委員長	
	三谷 哲雄	流通科学大学	総務委員会副委員長	
	山崎 義人	兵庫県立大学	国際交流委員会副委員長	
	吉田 長裕	大阪市立大学	会員・会計委員会副委員長	
	鷺尾 真弓	神戸市	企画委員会副委員長	

【常置委員会 委員】

総務委員	佐久間康富	大阪市立大学
	清水 紀行	地域計画建築研究所
	中野真由美	URサポート
	平井 仁	都市・計画・設計研究所
企画委員	臼田 利之	大阪市
	大庭 哲治	京都大学
	佐々木礼子	アイ・ディー・ビー
	紅谷 昇平	ひょうご震災記念 21 世紀研究機構
	中島 吾郎	京都市
	武田 重昭	兵庫県立人と自然の博物館
	北口 昇	堺市
	樋口 清士	地域未来研究所
	幾田正一郎	兵庫県
会員・会計委員	牧野 純子	市浦ハウジング&プランニング
	三崎 信顕	大阪府
	山本 弘美	大阪市
編集・広報委員	岡本 壮平	地域計画建築研究所
	田邊 豪二	都市再生機構
	中木 保代	学芸出版社
国際交流委員	荒谷 一平	兵庫県
	大島 洋一	日本生命
	金澤 成保	大阪産業大学
	栗山 尚子	神戸大学
	島田 昌寛	ジャス
	沈 悦	兵庫県立大学
	坊農曜志男	大阪市
関西まちづくり賞委員	伊藤 裕文	兵庫県
	木多 道宏	大阪大学
	千葉 桂司	Kまち工房
	長谷川利恵子	公園マネジメント研究所
	松田 彰	京都市
	横島 毅	全国市町村再開発連絡協議会
研究発表委員	川口 将武	大阪産業大学
	栗山 尚子	神戸大学
	佐久間康富	大阪市立大学
	下村 泰彦	大阪府立大学
	田中 利光	大阪市
	徳勢 貴彦	スペースビジョン研究所
	吉積 巳貴	京都大学

## 【特別委員会】

### 東日本大震災復興都市づくり特別委員会

委員長	上原 正裕	兵庫県住宅建築総合センター
副委員長	上甫木昭春	大阪府立大学
副委員長	福島 徹	兵庫県立大学
副委員長	堀口 浩司	地域計画建築研究所
	小谷 通泰	神戸大学
	久保 光弘	久保都市計画事務所
	栗山 尚子	神戸大学
	小浦 久子	大阪大学
	斉藤 庸平	兵庫県立大学
	佐久間康富	大阪市立大学
	清水 紀行	地域計画建築研究所
	武田 重昭	兵庫県立人と自然の博物館
	橘 俊光	兵庫県
	田中 康	ヘッズ
	辻井 裕	大阪府
	中野真由美	URサポート
	難波 健	兵庫県
	平井 仁	都市・計画・設計研究所
	三谷 哲雄	兵庫県立大学
	宮前 保子	国際花と緑の博覧会記念協会
	三輪 康一	神戸大学
	山崎 義人	兵庫県立大学
	吉川健一郎	コープラン
	鷺尾 真弓	神戸市
	渡瀬 誠	都市再生機構

## 【その他委員会】

### 研究交流事業特別委員会

委員長	増田 昇	大阪府立大学
副委員長	小谷 通泰	神戸大学
副委員長	佐藤 道彦	大阪市
	小浦 久子	大阪大学
	澤木 昌典	大阪大学
	平田富士男	兵庫県立大学
事務局長	堀口 浩司	地域計画建築研究所
事務局	石川 聡史	地域計画建築研究所

公益社団法人 日本都市計画学会関西支部

<http://www.cpij-kansai.jp/>

〒600-8007 京都市下京区立売西町 82 京都恒和ビル 6 階  
(株)地域計画建築研究所内

Tel 075-708-6191 Fax 075-256-1764

## 第4号議案 2013年度支部役員人事（案）

支部長	堀口 浩司	（推薦）
副支部長	川田 均	（推薦）
副支部長	中川 大	（推薦）
副支部長	上甫木昭春	（推薦）

### 【幹事 新任】

岡	絵理子	（国際交流委員長）
栗山	尚子	（研究発表副委員長）
坂井	信行	（編集・広報副委員長）
長谷川	利恵子	（関西まちづくり賞副委員長）
平井	仁	（総務副委員長）
坊農	曜志男	（国際交流副委員長）
松中	亮治	（企画副委員長）
三崎	信顕	（企画副委員長）

### 【留任】

川田	均	（会計委員長）
神吉	紀世子	（編集・広報委員長）
小浦	久子	（企画委員長）
澤木	昌典	（総務委員長）
田中	康	（関西まちづくり賞副委員長）
中川	大	（関西まちづくり賞委員長）
西江	誠	（関西まちづくり賞副委員長）
松村	暢彦	（研究発表委員長）
吉田	長裕	（会計副委員長）
鷺尾	真弓	（企画副委員長）

### 【顧問】

増田	昇	（推薦）（前支部長）
小谷	通泰	（推薦）（前副支部長）
佐藤	道彦	（推薦）（前副支部長）